

宮崎県産 ブルーベリー葉粉末

一肝臓脂肪抑制剤で特許取得・美容・アイケア・新型コロナウイルス抑制作用

宮崎大学で育成されたブルーベリー新品種「くにさと35号」を使用



登録第 5953416号

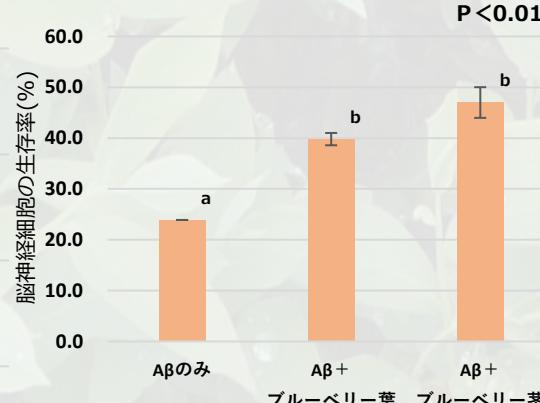
宮崎大学が宮崎県の特産物（約1500サンプル）の中から抗酸化活性やポリフェノール含量について網羅的に調査しました。その結果、ブルーベリー葉に高い抗酸化活性があることが確認されました！さらに、宮崎大学でラビットアイブルーベリーの品種改良を重ね、プロアントシアニジンが多く含まれる『くにさと35号』の育成に成功！宮崎県内でブルーベリーの無農薬栽培をしております。当社のブルーベリー葉粉末はプロアントシアニジンを15%以上で規格しております。

ブルーベリー葉粉末のin vitro試験

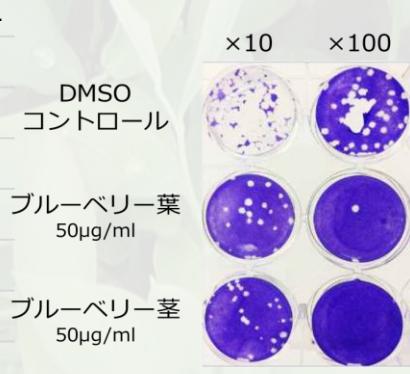
ブルーベリー葉の抗酸化活性に関して



脳神経細胞における細胞保護効果



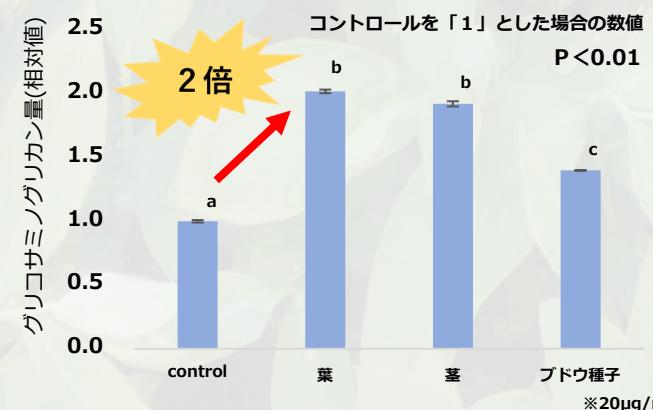
新型コロナウイルスの抑制作用



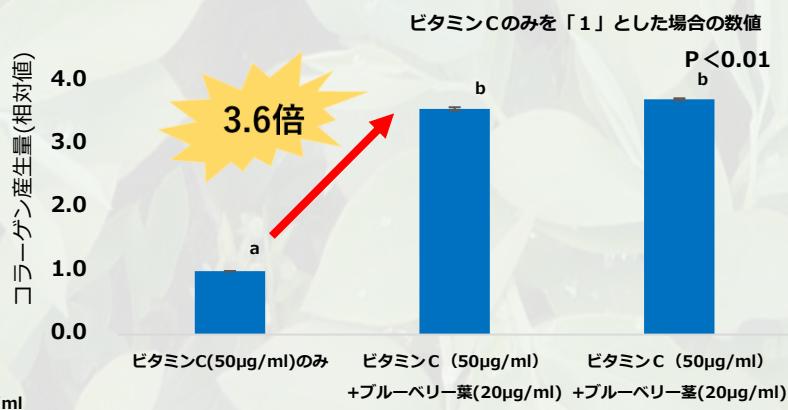
宮崎大学調べ

ブルーベリー葉の抗酸化力（ORAC値）は果実よりも10倍程度あることが確認されております。また、くにさと35号由来のブルーベリー葉はアミロイド β （A β ）による細胞障害の抑制効果や新型コロナウイルス（COVID-19）の抑制作用も確認しております。

グリコサミノグリカン（美容データ）



コラーゲン産生（美容データ）



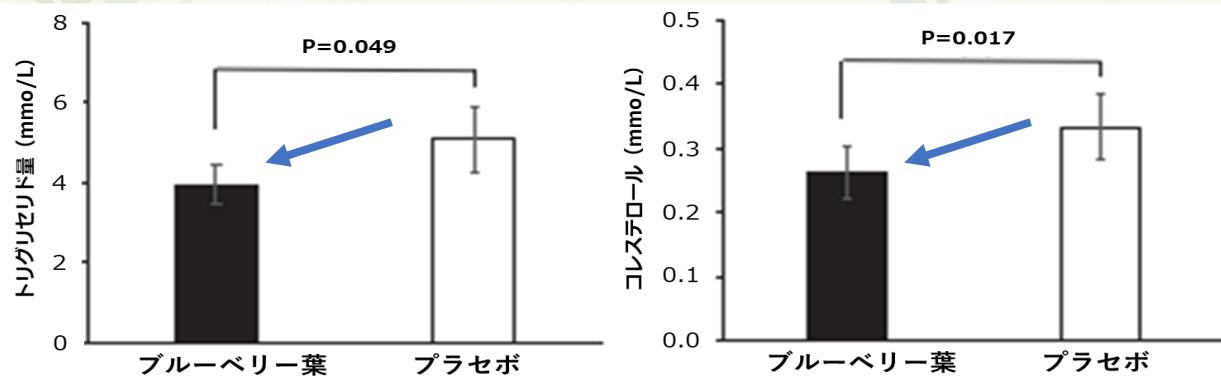
グリコサミノグリカンは美容や軟骨に関する表皮と真皮の境の膜（基底膜）を構成している成分で、真皮の水分や肌の柔らかさを保つために重要な成分になります。ブルーベリー葉を添加することでグリコサミノグリカン量が増加しました。また、ビタミンCにブルーベリー葉を添加することでビタミンC単体よりもコラーゲンの産生量が大幅に増加することが確認され、美容効果が期待できます。

ヒト臨床試験（抗メタボ）

単回投与でのブルーベリー葉由来のプロアントシアニジンが高脂肪食摂取時に与える影響

試験：空腹時TG（トリグリセリド）が100mg/dl～199mg/dlの男女10名（平均年齢46.3歳）

ブルーベリー葉粉末：847mg/日 ※単回投与試験



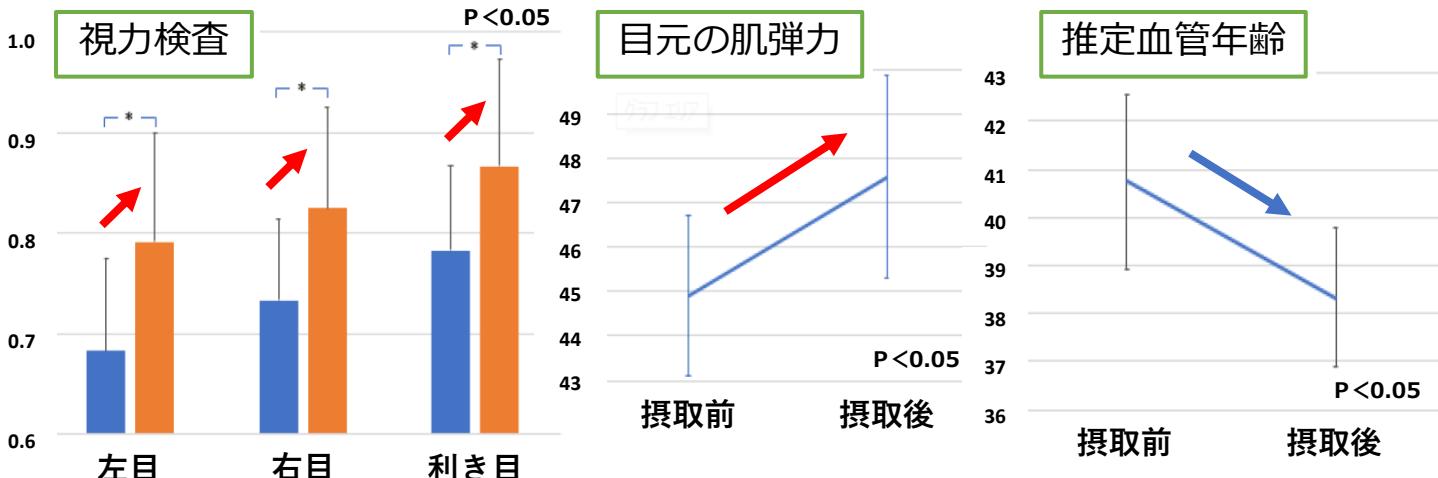
トリグリセリド量とコレステロールとともにブルーベリー葉摂取により有意に減少していることが確認された。ブルーベリー葉は高脂血症（中性脂肪）やメタボリックシンドロームの予防に有効であることが示唆されました。 肝臓脂肪蓄積抑制剤で特許取得（特許第4568809号）

ヒトモニター試験（アイケア、美容）

・VDT作業者で、目の疲労を感じている男女12名（平均年齢40.1歳）

※負荷試験（パソコン作業）後に試験を実施。

ブルーベリー葉粉末 摂取量：270mg/日相当 摂取期間：4週間



視力検査はブルーベリー葉摂取後に改善され、目元の肌弾力に関しても有意に改善されていることを確認した。また、推定血管年齢も摂取後に若返っていることを確認した。

・商標に関して

「Tie2 PLUS」のロゴの商標はブルーベリー葉粉末：270mg/日以上の配合により使用可能です。

※当社の登録商標の使用を希望される場合は、当社への事前の連絡および当社の許諾が必要となります

会社名：株式会社ビオラボ

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館16階

TEL : 078-265-1833 FAX : 078-265-1834

・無断複写、流用は著作権法上、禁じられています。転載を希望される場合は、事前に弊社までご連絡ください。

・消費者向け製品発売の際には、医薬品医療機器法・景品表示法等の関連法規を順守してください。